

# 環境活動レポート

2016年度

(2016年8月～2017年7月)



作成日 2017年 11月 15日



木づかいのある家造り  
株式会社 岩切建設

## 【 目 次 】

1. 事業概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 事業活動	3
4) 連絡先	3
5) 事業規模	3
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	4
3. 環境方針	5
4. 環境目標	6
5. 環境目標の実績	7
6. 環境活動計画の取組結果とその評価	8
7. 次年度の取組内容	9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

## 1. 事業概要

### 1) 事業者名及び代表者名

株式会社 岩切建設

代表取締役社長 岩切 洋

### 2) 所在地

〒884-0005

宮崎県 児湯郡 高鍋町大字持田1582番地

### 3) 事業の活動

・総合建設業(建築工事業、土木工事業、大工工事業、とび・土工工事業)・不動産業

宮崎県知事許可(23)第1710号

### 4) 連絡先

EA-21責任者：営業 鶴田 美紀子

EA-21事務局：総務部 岩切 眞美

連絡担当者：鶴田 美紀子 (EA21責任者)

TEL : 0983-22-1177

FAX : 0983-22-1134

E-mail: info@iwakiri-kensetu.jp

### 5) 事業規模

活動規模	単位	2013年	2014年	2015年	2016年
工事等の件数	件	41	39	54	44
従業員	人	22	23	24	25
事務所床面積	m <sup>2</sup>	256	256	256	256
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	162	162	162	162
資機材置場面積	m <sup>2</sup>	331.24	331.24	331.24	331.24
作業所等床面積	m <sup>2</sup>	415.13	415.13	415.13	415.13

## 2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

### ・対象範囲(認証・登録範囲)・・・全組織・全活動

#### 組織

- ・本 社 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田1582番地
- ・作 業 場 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田1590番地
- ・資材倉庫 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田1573番地1

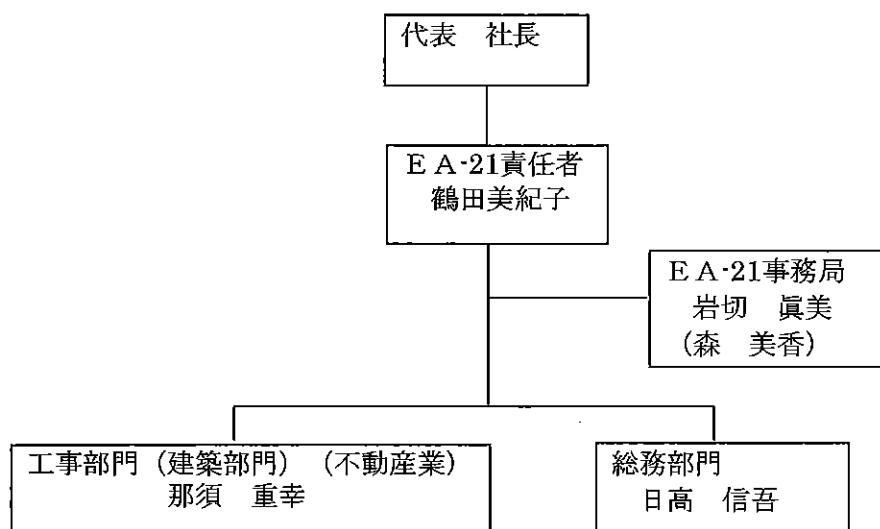
#### 活動

- ・総合建設業(建築工事業、土木工事業、大工工事業、とび・土工工事業)・不動産業

### ・レポートの対象期間及び発行日

対象期間 2016年8月～2017年7月  
発行日 2017年 11月 15日

### ・推進組織図



### 3. 環境方針

## 社 是

お客様に満足感動される仕事を提供することで  
会社の繁栄と社員の生活の安定向上を図り  
家づくりを通じて地域社会に貢献する

## 環 境 方 針

### 基 本 理 念

私たちは、積極的に環境問題を認識し、優先課題と位置付けて当社の事業活動のあらゆる分野で自主的、積極的に環境保全に取り組み、循環型社会の構築に努め、持続可能な社会の実現に貢献致します。

### 行 動 指 針

1. 我々は建築事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を順守すると共に、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 設計・建築事業に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
  - ①電気使用量・化石燃料使用量の削減による二酸化炭素排出量の削減
  - ②建設現場や事業所から排出される廃棄物の削減
  - ③節水活動による水使用量の削減
  - ④工事事業においては、環境に配慮した施工計画を積極的に提案します
  - ⑤事務用品、建築資材等のグリーン購入の推進
4. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この環境方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに一般に公開します。

2009年 7月 20日 (制定)  
2011年 12月 1日 (改訂)

株式会社 岩切建設  
代表取締役社長 岩切 洋

#### 4. 環境目標

取組み項目	区分	環境目標			
		基準値 (2011年度～ 2013年度 の平均値)	2016年度 (2016年8月～ 2017年7月)	2017年度 (2017年8月～ 2018年7月)	2018年度 (2018年8月～ 2019年7月)
1. 二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	全社	85,095	82,542	81,691	81,007
エネルギー	①電気使用量の削減(kWh)		基準値比3.0%削減	基準値比4.0%削減	基準値比5.0%削減
	事務所	27,227	26,410	26,138	26,138
	②ガソリン使用量の削減(L)		基準値比3.0%削減	基準値比4.0%削減	基準値比5.0%削減
	事務所	10,534	10,218	10,113	10,007
	現場	12,166	11,801	11,679	11,558
	全体	22,700	22,019	21,792	21,565
③軽油使用量の削減(L)		基準値比3.0%削減	基準値比4.0%削減	基準値比5.0%削減	
現場	5,994	5,814	5,754	5,694	
2 廃棄物	①一般廃棄物の削減(kg)		基準値比3.0%削減	基準値比4.0%削減	基準値比5.0%削減
	事務所	593	575	569	563
②建設副産物廃棄方法の遵守		現場(t)	仕様書どりの廃棄		
3. 水資源使用量の削減(m <sup>3</sup> )	全体	未計量	節水		
4. グリーン購入の推進(%)	全体	(グリーン品数÷ 全購入数)=50%	4%増	5%増	6%増
			53%	54%	55%
5. 環境保全の取組推進(回数)	周辺清掃	48回/年	48回/年	48回/年	48回/年
	ボランティア	2回/年	2回	2回	2回
6. 省エネ設計の推進	全体	・省エネ設備の提案 ・省エネ等の情報収集	環境活動計画の遵守		

2014年8月 基準値を2011年度～2013年度までの3ヶ年の平均値とした

2014年8月 現場の電気、事務所の灯油は比較的少ないため削減目標は設定しない

2014年8月 グリーン購入の目標は購入品の中でグリーン製品の率を高める目標とした  
(グリーン製品数÷総購入数)・・・アスクルの請求書でカウントする。

2014年8月 省エネ設計の推進は、当該環境活動計画の遵守を目標とする。

2014年8月 購入電力の二酸化炭素排出係数は九州電力のH24年度公表値0.612を使用しています。

購入電力	0.612
ガソリン	2.322
軽油	2.624

## 5. 環境目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

取組み項目		目標値	実績	達成率	判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	全体	82,542.0	75,029.0	110.0%	○	
①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	26,410.0	23,542.0	112.2%	○	
②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	10,218.0	6,068.0	168.4%	○	
	現場	11,801.0	13,450.0	87.7%	×	
	全体	22,019.0	19,518.0	112.8%	○	
③軽油使用量の削減 (L)	現場	5,814.0	5,833.0	99.7%	×	
廃削減物の	①一般廃棄物の削減(kg)	事務所	575.0	518.0	111.0%	○
	②建設副産物廃棄方法の遵守	現場(t)	仕様書どりの廃棄	仕様書どりに廃棄しました(2398.7t)	—	○
3. 水資源使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	全体	節水	節水	—	○	
4. グリーン購入の推進 (%)	全体	53.0%	67% (245品/382品)	126.4%	○	
5. 環境保全の取組推進 (回数)	周辺清掃	48回/年	50回	104.1%	○	
	ボランティア	2回	7回	350.0%	○	
6. 省エネ設計の推進	全体	環境活動計画の遵守	活動計画を遵守しています	—	○	

\* 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.612を使用しています。

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価

項目	環境活動計画	取組結果	評価
1. 電気使用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)	① 長時間及び昼休みなどの休憩時間等は消灯が行われている	不在・不要箇所の消灯や室内温度の徹底など徹底し、更に、昨年、事務所の改修による、エコ空調機器取替により、使用量が軽減されている。引き続きこまめな消灯や、室内の温度設定など呼びかけを行っていく。又、3ヶ月毎の蛍光灯清掃の徹底が必要。	○
	② 消灯しても支障のない電気が消灯行われている		○
	③ 室内温度管理の徹底（夏季:28℃以上、冬季:22℃）		○
	④ パソコン等のオート電源オフ		○
	⑤ 3ヶ月毎に蛍光灯の清掃を実施している		△
2. 燃料使用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)	① 作業停車時などはアイドリングストップを行う	現場でのガソリンの使用量がなかなか目標を達成できない。原因は遠方の施工現場が多いためであるが、意識してアイドリングストップや、相乗り等を行っていく。全体的には、目標達成出来ているが、油断せず各自取り組んでいくよう呼びかけていく。又、忘れ物によるUターン防止の為の事前段取りや重機のフルパワー防止、定期整備などは徹底して実施出来ている。	○
	② 急発進・急加速・急停止・空ぶかし運転はしない		○
	③ 車両管理日報（走行距離と補給燃料量）が記載されている		○
	④ 不要な荷物などは積んでいない		○
	⑤ 現場へはできるだけ相乗りで通勤している。		△
	⑥ 忘れ物Uターン防止の為、事前の段取りを徹底している。		○
	⑦ 重機はアクセル7割運動などでフルパワー操作を抑制している		○
	⑧ 重機の定期点検整備が行われている		○
3. 廃棄物の削減	① 廃棄物の分別計量をしている	ペーパーレスの推進や裏紙・両面コピーなどを推進し、事務所内の一般廃棄物は目標を達成出来た。しかし現場の産業廃棄物は、大幅に増えている。これはリフォーム、改修工事が増えたためであるが、設計書道理の廃棄を遵守するなど、引き続きしっかり管理していく。	○
	② 回覧文書などはできるだけアウトプットしない。		○
	③ コピーは裏紙、縮小、集約、両面コピー等で用紙削減を図っている		○
	④ 廃棄物の処理はできるだけリサイクル業者へ委託契約をしている		○
	⑤ 資材梱包材などは業者に持ち帰ってもらっている		○
	⑥ 自分のゴミは自分で処分する。(マイ箸、マイボトルの推進)		○
4. 水資源使用量の削減	① 水場には節水のシールが貼られている	特に洗車での節水の呼びかけを定期的に行っている。各自の意識高揚を促す。定期的な漏水点検は、実施しない時期もあったが、上水使用量を確認しながら漏水点検も実施する	○
	② 定期的に漏水点検を実施している		△
5. グリーン購入の推進	① 事務用品のエコ商品優先購入	購入時には必ずエコ商品を確認する事は、かなり定着してきている。次年度も引き続き推進していく。	○
	② 建築資材等のエコ商品優先購入		○
	③ エコ商品の情報収集、検討		○
5. 環境保全の取組み推進	① ボランティア活動の実施	事務所周辺のゴミ拾いは、毎週末行っている。また、地域ボランティア活動も例年通り積極的に参加している。毎月の安全パトロールで現場敷地内はもちろん、周辺の清掃活動の徹底をはかる。	○
	② 事業所周辺の清掃活動		○
	③ 現場周辺の清掃活動		○
6. 省エネ設計の推進	① 計画設計段階で省エネ設備の提案	省エネ基準が改正され、国策でも今後義務化になっていくところで、全計画段階で説明、提案を引き続き行っていく。	○
	② 省エネ設備等の情報収集を常に行っている。		○



## 7. 次年度の取組内容

項目	環境活動計画
1. 電気使用量削減 (CO <sub>2</sub> の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 長時間及び昼休みなどの休憩時間等は消灯が行われている</li> <li>② 消灯しても支障のない電気が消灯行われている</li> <li>③ 室内温度管理の徹底（夏季:28℃以上、冬季:22℃）</li> <li>④ パソコン等のオート電源オフ</li> <li>⑤ 3ヶ月毎に蛍光灯の清掃を実施している</li> </ul>
2. 燃料使用量の削減 (CO <sub>2</sub> の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 作業停車時などはアイドリングストップを行う</li> <li>② 急発進・急加速・急停止・空ぶかし運転はしない</li> <li>③ 車両管理日報（走行距離と補給燃料量）が記載されている</li> <li>④ 不要な荷物などは積んでいない</li> <li>⑤ 現場へはできるだけ相乗りで通勤している。</li> <li>⑥ 忘れ物Uターン防止の為、事前の段取りを徹底している。</li> <li>⑦ 重機はアクセル7割運動などでフルパワー操作を抑制している</li> <li>⑧ 重機の定期点検整備が行われている</li> </ul>
3. 廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物の分別計量をしている</li> <li>② 回覧文書などはできるだけアウトプットしない。</li> <li>③ コピーは裏紙、縮小、集約、両面コピー等で用紙削減を図っている</li> <li>④ 廃棄物の処理はできるだけリサイクル業者へ委託契約をしている</li> <li>⑤ 資材梱包材などは業者に持ち帰ってもらっている</li> <li>⑥ 自分のゴミは自分で処分する。(マイ箸、マイボトルの推進)</li> </ul>
4. 水資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 水場には節水のシールが貼られている</li> <li>② 定期的に漏水点検を実施している</li> </ul>
5. グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事務用品のエコ商品優先購入</li> <li>② 建築資材等のエコ商品優先購入</li> <li>③ エコ商品の情報収集、検討</li> </ul>
5. 環境保全の取組み推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ボランティア活動の実施</li> <li>② 事業所周辺の清掃活動</li> <li>③ 現場周辺の清掃活動</li> </ul>
6. 省エネ設計の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 計画設計段階で省エネ設備の提案</li> <li>② 省エネ設備等の情報収集を常に行っている。</li> </ul>

環境活動は前年度の活動を継続するが、社会の情勢や事業変化等があった場合や、その他の効果的な活動があった場合は、適宜見直していく。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に関する環境関連法規制の遵守状況を毎年4回実施しておりますが、今まで一度も違反や訴訟はありませんでした。

また、地域住民からの苦情やクレームなどありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、現場の安全パトロール等で常に確認しています。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期は、現場での燃料の使用量が前期と同様で、目標を達成出来ていない。これは、やはり遠方現場が重なっているのが原因ではある。もちろん、エコドライブ、相乗り、等意識して行っていくが、来期から基準値の見直しを検討してみてもどうかと考える。

また、再び一般廃棄物が大幅に増えている。徐々にリフォーム改修の仕事が増えているためであるが、意識して取り組んでもらいたい。

今期も、会社廻りのゴミ拾いや、社会貢献活動も行っている。また、地域と協力して環境保全に積極的に参加し、意識を高めている。

地球にやさしい、環境にやさしい活動を、積極的に行い、持続していくことを念頭において、掲げている目標を達成できるよう意識して取り組んでもらいたい。